

会 議 録

1 会議名

令和4年度第4回柿崎区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

(1) 協議事項 (公開)

- ・令和4年度柿崎区地域活動支援事業の採択について
- ・地域活動支援事業に関するアンケート調査の実施について

(2) 報告事項 (公開)

- ・柿崎区地域協議会各種委員会からの活動報告

(3) その他 (公開)

3 開催日時

令和4年6月7日(火) 午後6時から午後7時8分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ3階 305～307 会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者(傍聴人を除く) 氏名(敬称略)

- ・委員：吉井一寛(会長)、白井一夫(副会長)、薄波清美、貝谷雅子、片桐宏樹、片桐充、小出祥世、小山慶、武田正教、中村誠、箕輪明男、蓑輪和彦、吉村正
- ・事務局：柿崎区総合事務所 新部所長、柿村次長、小林次長、滝澤産業グループ長、田原建設グループ長、池田市民生活・福祉グループ長、小林教育・文化グループ長、熊木地域振興班長、大場主査

8 発言の内容(要旨)

【柿村次長】

- ・地域協議会の開会を宣言。
- ・岩野秀樹委員の欠席を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明。

【吉井会長】

- ・会長挨拶。
- ・会議録署名委員に薄波清美委員を指名。
- ・令和 4 年度柿崎区地域活動支援事業の採択について、事務局から説明をお願いしたい。

【熊木班長】

- ・令和 4 年度柿崎区地域活動支援事業の採択について、資料 1 により説明。

【吉井会長】

- ・それでは、令和 4 年度柿崎区地域活動支援事業の採択を始める。共通審査基準の評点の高い事業から順に採択していく。受付番号 9 番。黒川・黒岩ふれあい事業。共通審査基準の評点は 21.143 点。採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員挙手)

【吉井会長】

- ・全員一致で採択をする。続いて、受付番号 10 番。柿崎時代夏まつり「下黒川地区夏まつり」事業。共通審査基準の評点は 20.846 点。採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員挙手)

【吉井会長】

- ・全員一致で採択をする。続いて、受付番号 5 番。坂田池園地桜植替え事業。共通審査基準の評点は 20.538 点。採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員挙手)

【吉井会長】

- ・全員一致で採択をする。続いて、受付番号 8 番。猿毛城址登山道整備事業。共通審査基準の評点は 20.5 点。採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員挙手)

【吉井会長】

- ・全員一致で採択をする。続いて、受付番号 7 番。柿崎まちづくりカレンダー作製事業。共通審査基準の評点は 20.429 点。採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員挙手)

【吉井会長】

- ・全員一致で採択をする。続いて、受付番号 1 番。密蔵院周辺の整備および米山登山道古道整備事業。共通審査基準の評点は 20.143 点。採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員挙手)

【吉井会長】

- ・全員一致で採択をする。続いて、受付番号 4 番。かきざき湖八重桜広場の八重桜植樹事業。共通審査基準の評点は 20.143 点。採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員挙手)

【吉井会長】

- ・全員一致で採択をする。続いて、受付番号 3 番。ドーム周辺花いっぱい事業。共通審査基準の評点は 20.071 点。採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員挙手)

【吉井会長】

- ・全員一致で採択をする。続いて、受付番号 6 番。第 5 回手しごと・手づくり柿崎・上越作品展。共通審査基準の評点は 19.786 点。採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員挙手)

【吉井会長】

- ・ 全員一致で採択をする。最後に、受付番号 2 番。柿崎区農業の未来を考えるための地域ビジョン策定事業。共通審査基準の評点は 19.143 点。採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員挙手)

【吉井会長】

- ・ 全員一致で採択をする。全事業が採択された。採択事業に付帯意見をつける必要がある事業はあるか。

(なし)

- ・ ないということで、付帯意見なしで全事業が採択された。
- ・ それでは協議事項(2)地域活動支援事業に関するアンケート調査の実施について、事務局から説明をお願いする。

【熊木班長】

- ・ 地域活動支援事業に関するアンケート調査の実施について、資料 2 により説明。

【吉井会長】

- ・ アンケート調査の内容及び配布先について皆さんの意見をお聞きしたい。

【武田委員】

- ・ 花うえの会に先日、地域活動支援事業がなくなるが、来年度以降どうするかを聞いた。やっていけないとの話であった。また、密蔵院周辺の整備および米山登山道古道整備事業については、宗教上の関係があることから、草刈りの補助だけをお願いしているとのことであり、今後の行政との関わり、どこまでできるのかについて、皆さんで検討してほしいと思っている。

【吉井会長】

- ・ 片桐充委員にお聞きするが、坂田池園地桜植替え事業について、地域活動支援事業がなくなったらどうなるか。

【片桐充委員】

- ・ アンケート調査の実施は非常に良い取組であり、質問事項についてこれでよいと思う。
- ・ 観光協会の場合は、地域活動支援事業がなくなったとしても、なんとか継続してできると思う。

【吉井会長】

- ・委員の皆さんから、地域活動支援事業がなくなってこれからどうしたらいいかを伺いたい。

【薄波委員】

- ・地域活動支援事業で無くしてはいけない事業について、アンケート調査を実施することで、検討していけばよいと思う。

【貝谷委員】

- ・桜や花植えといった類については、緑のキャンペーンとか他の補助制度を探していけばよいと思う。

【片桐宏樹委員】

- ・地域活動支援事業がなくなると活動を止める団体が出てくる。楽しみにしている人たちもいるので、なんとかしたいと思う。

【小出委員】

- ・ボランティア的なもの、調査のもの、お祭りのなものといくつか種類がある。公共施設の花代は市の予算から出てもいいのではないかなと思う。アンケートから出てきたものを整理し、予算が取れるところもあるのではないかなと思う。

【小山委員】

- ・地域活動支援事業に代わる補助金が何かあればよいと思う。市と協力し相談していくしかないと思う。

【吉村委員】

- ・地域活動支援事業がなくなると困ると考えており、なくならないようにうまくできる方法はないかを考えている。アンケートについては、この内容でよいと思う。配布先については、できれば町内会長に配られればよいと思う。

【蓑輪委員】

- ・具体案は即に出ないが、地域からの声を吸い上げて必要であれば市へ要求することが、地域協議会の責務だと思う。

【箕輪委員】

- ・アンケートと配布先もこれでよいと思う。地域活動支援事業がなくなると困ると思う。

【中村委員】

- ・アンケートと配布先もこれでよいと思う。
- ・黒川・黒岩ふれあい事業と密蔵院周辺の整備および米山登山道古道整備については、地域活動支援事業がなくなったとしても、規模は小さくなるかもしれないが、続いていくと思う。他の8事業については、継続について不安である。

【武田委員】

- ・地域活動支援事業で採択してきた事業は、地域に根差しているものであり、どうゆう形であれば、今後、地域事業として予算化してもらえるのかを行政と検討していかなければならないと思う。

【白井委員】

- ・地域活動支援事業の審査をしている中でずっと引っ掛かっていたことがある。それは、11回目でも最大の100万円の補助を受けている。毎年、少しずつ事業費が増えてきて、0.9、0.8と補助率が下がるが100万円の補助を毎年、承認されているが、他の団体と不公平感があるのではないかという思いでずっときていた。

【吉井会長】

- ・地域活動支援事業がなくなるという時に、市は元気事業の提案をしてくださいと言っている。一つの見本は、頸城区の大池、小池を自主的審議事項に上げて、行政と地域が一体となって、それに予算を付けた。例えば、黒川・黒岩ふれあい事業を元気事業にして、地域と行政が一体となって祭りをしていく。まさに柿崎時代夏まつりと一緒の形になる。アンケートをして、来年も実施するという話になった時に元気事業として取り上げる道がありますが、いかがされますかという話になるかと思う。そうなってくると皆さんに骨を折っていただいて、そちらの方向性をつけなければならないと思っている。その辺をどう整理するかが課題であると思っている。
- ・アンケートを回収し、回収した結果を委員の皆さんに報告し、どのような対応ができるかを相談させていただきたい。
- ・皆さんからご意見、ご質問はあるか。
(なし)
- ・それでは、報告事項に移る。柿崎区地域協議会各種委員会からの活動報告で、まず、柿崎空き家活かそうプロジェクトについて蓑輪委員長から願います。

【菘輪委員長】

- ・空き家に住んでいる移住者からの聴き取り調査については、我々のプロジェクトの目的をしっかりと伝えた方がよいとの話になった。担当が依頼文書を作成し、次回の会議で検討することとなった。調査対象者は10人以上としたいことから、移住の情報があつたら情報提供をお願いしたい。
- ・新規就農者の受け入れについては、5月9日に地域おこし協力隊が東横山に採用され空き家に住んでいるという情報が担当からあつた。
- ・各団体との連携については、柿崎農業の未来を考える会とも、意見交換をしてみたかどうかという話になった。また、各団体との意見交換会は、事業提案ができる段階で行った方がよいとの話になった。
- ・建築住宅課との意見交換会の進め方については、事前に意見交換会の内容を作成し、行った方がよいという話になった。また、我々の目的を建築住宅課に分かってもらった上で、意見交換会をした方がよいという話になった。
- ・次回の会議は6月30日木曜日、午後6時から3階の市民活動室で行う。

【吉井会長】

- ・続いて、みんなの保育園を考える会について、小山委員長から願います。

【小山委員】

- ・6月4日土曜日に区内の4つの保育園となおえつ保育園の視察を委員5人で行った。
- ・区内の保育園は、老朽化が進んでいる中で、少子化も進んでおり、定員数が半数を割れているのが、上下浜保育園、あと2、3年で半数以下となるのが下黒川保育園ということで、特に上下浜保育園、下黒川保育園に関しては、早急な対応が必要と感じた。
- ・また、建物に関しては、視察当日は天候も良く過ごしやすかったが、夏場と冬場を想定した時に、冷暖房が古く、冬は古い建物で隙間風が入り寒く、夏は日差しが当たると大変暑いという部分も見えてきたので、早急な対応が必要と感じた。
- ・なおえつ保育園の人数は、ちょうど柿崎区の4つの保育園を足した人数で運営をしていた。
- ・統合となるとこのくらいの規模の保育園になるという視点で見えてきた。
- ・セキュリティ面に関しても、入園、退園をタブレット端末で記録し、今後、補助

金を使って監視カメラを付けるという話を聞いた。

- ・保育園から保護者への情報発信もスマートフォンのアプリを使って行っているとの話であった。また、SNSに拡散できないような対策も取っているとのことで、市内でも最新的な保育園であった。
- ・保育園の形も全体を見渡せる形の保育園であり、大変素晴らしい保育園であった。
- ・参加した方からの意見をまとめ、協議し、統合がよいのか、併設がよいのか、その他の方がよいのかを協議していきたい。

【吉井会長】

- ・貝谷委員どうでしたか。

【貝谷委員】

- ・柿崎区内の保育園の施設は、随分と老朽化していた。しかし、上下浜保育園や下黒川保育園は、特色があって、統合となったら捨てる難いと思った。
- ・なおえつ保育園は、後付けの器具が全然なく、収納場所もしっかりあり、すごく羨ましかった。
- ・なおえつ保育園は民営化されており、柿崎区が統合した場合は、民営化となる可能性もあり、どちらがよいのかと思った。

【吉井会長】

- ・なおえつ保育園に入っている子どもたちは、あれだけきれいな保育園に入って、得をしているなどと思った。
- ・また、2歳児、3歳児がiPadを使ってプレゼンテーションや英語を勉強したり、色々な地区から保育園児を集めたりしているとのことであり、民営化も捨てる難いと思った。
- ・皆さんよろしいか。
- ・それでは、各種委員会からの活動報告を終了する。
- ・6 その他、今後のスケジュール等について事務局から説明をお願いします。

【熊木班長】

- ・次回地域協議会の開催について説明。

【吉井会長】

- ・資料3について私の方から説明する。

【吉井会長】

- ・その他ないか。

【熊木班長】

- ・地域協議会委員に郵送した主要事業・プロジェクトの概要及び上越市まちづくり市民大学開講について説明。

【吉井会長】

- ・その他ないか。
- ・他になければこれで終了する。

【白井副会長】

- ・地域協議会の閉会を宣言。
(午後 7 時 8 分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。